

かながわ

イグレン

理論機関誌 創刊号

2015年9月



< 目 次 >

- | | | |
|---|----------------------|------|
| 1 | イグレン理論誌の発刊にあたって | 芝 忠 |
| 2 | イグレン30年から学ぶこと | 芝 忠 |
| 3 | 地域活性化私論 私の秋田移住の7年間 | 宮川豊 |
| 4 | 国際協力機構（JICA）本邦研修実施報告 | 加藤文男 |

神奈川県異業種連携協議会

イグレン理論誌の発刊にあたって

神奈川イグレン(神奈川県異業種連携協議会)30周年を記念して「理論誌」を発刊することとしました。イグレン(当初は神奈川県異業種グループ連絡会議;異グ連)設立のころは日本の異業種交流活動の勃興期で、全国あちこちでグループが誕生、マスコミも次々に取り上げ大変賑やかな時代でした。しかしそれから30年を経過し、異業種交流活動は多様化、また古参グループが解散するなど、果たして「異業種交流は有効か」の疑問が投げかけられているのも事実です。

近年、政府のグループ活動調査が行われておらず、正確な動向は不明ですが、いわゆる行政機関などが募集する「通常型グループ数」は減少していると考えられますが、インターネットで調べると民間で多種多様な交流活動が展開されており、実態は広がっていると思われます。そこで、日本で異業種交流が始まった理由や、その後の展開を整理することにより、主として中小企業の経営戦略としての価値を認識し、地域密着型の経済活性化指針を探る手がかりとしたいと思ひます。

ちょうど政府の「地方創世」の動きもあり、真の地域活性化とは何かを研究する“場”となればうれしい。長期の「円高」から、一転「円安」となり、海外進出したものづくりの一部が戻ってくるということも言われています。われわれの調査(関東学院大学受託事業)によれば、海外進出せずに国内重視の経営戦略を取っている中小企業が意外と多く、その行動も注目されます。

現行の「イグレンニュース」は速報性に優れ、ホームページは情報の集積に優れています。想定される「理論誌」は年2回程度の発行で、募集論文は、①イグレン活動の報告と紹介②そこから学ぶこと(経験の整理)③異業種交流・連携の理論化④中小企業を取り巻く情勢の紹介と自己の意見⑤自身の体験の紹介、などを考えています。かなり幅広い範囲を想定しておりますので、皆様のご出稿を期待しております。

2015年9月1日
神奈川県異業種連携協議会
専務理事 芝 忠